



株式会社
深谷レジリエンス研究所
レジリエンスで活力のある社会を！

IFRA

日本金融監査協会
The Institute of Financial Risk management and Audit

緊急開催 新型コロナ対策セミナー

感染爆発をどのように乗り切るか

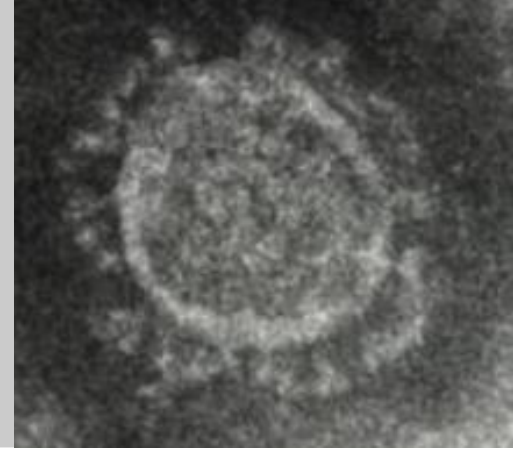
(講師)

国際医療福祉大学大学院 教授 和田 耕治 氏

(聞き手)

深谷レジリエンス研究所 代表取締役 深谷 純子 氏

日本金融監査協会 碓井 茂樹

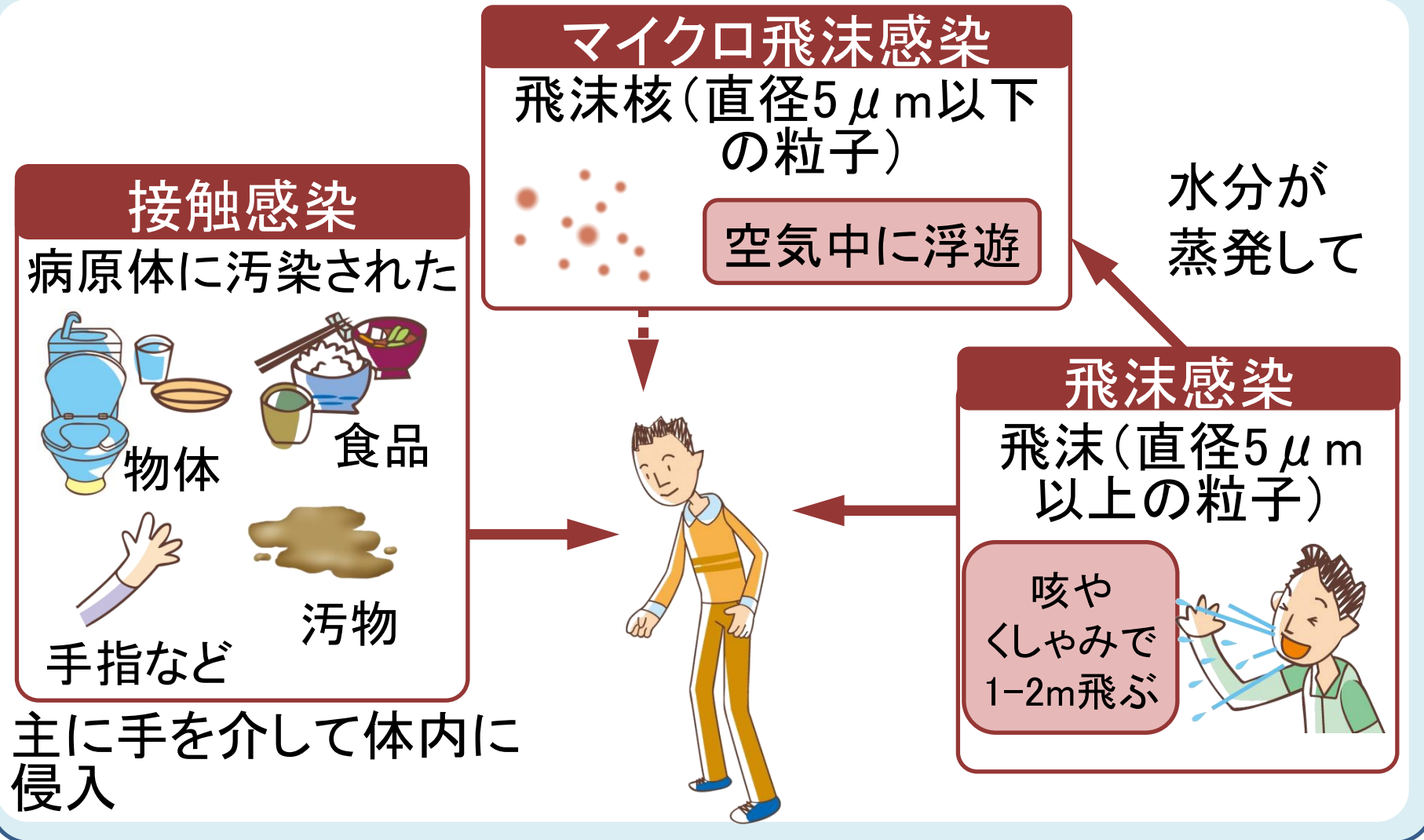


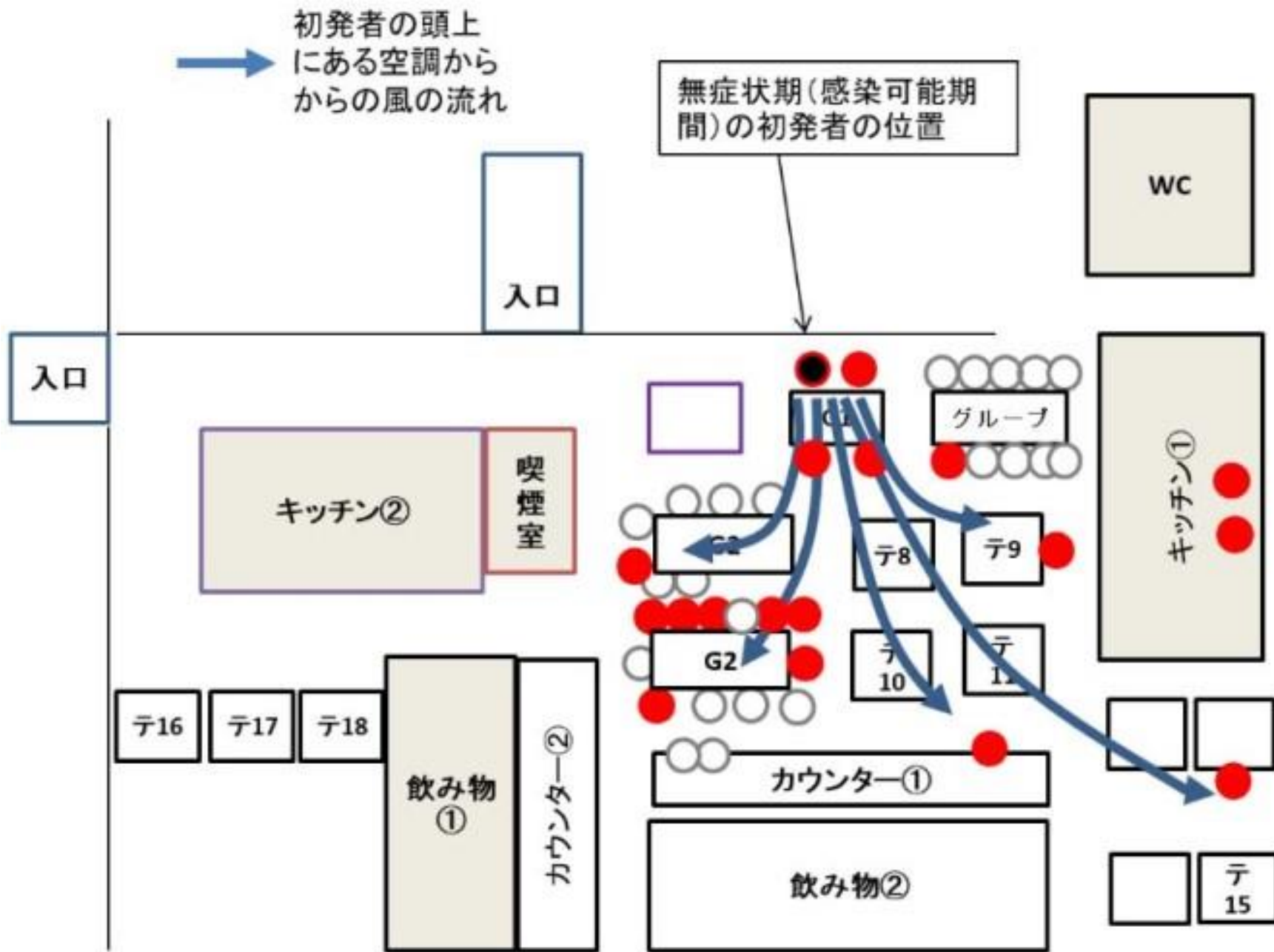
新型コロナウイルスのこれまでとこれから

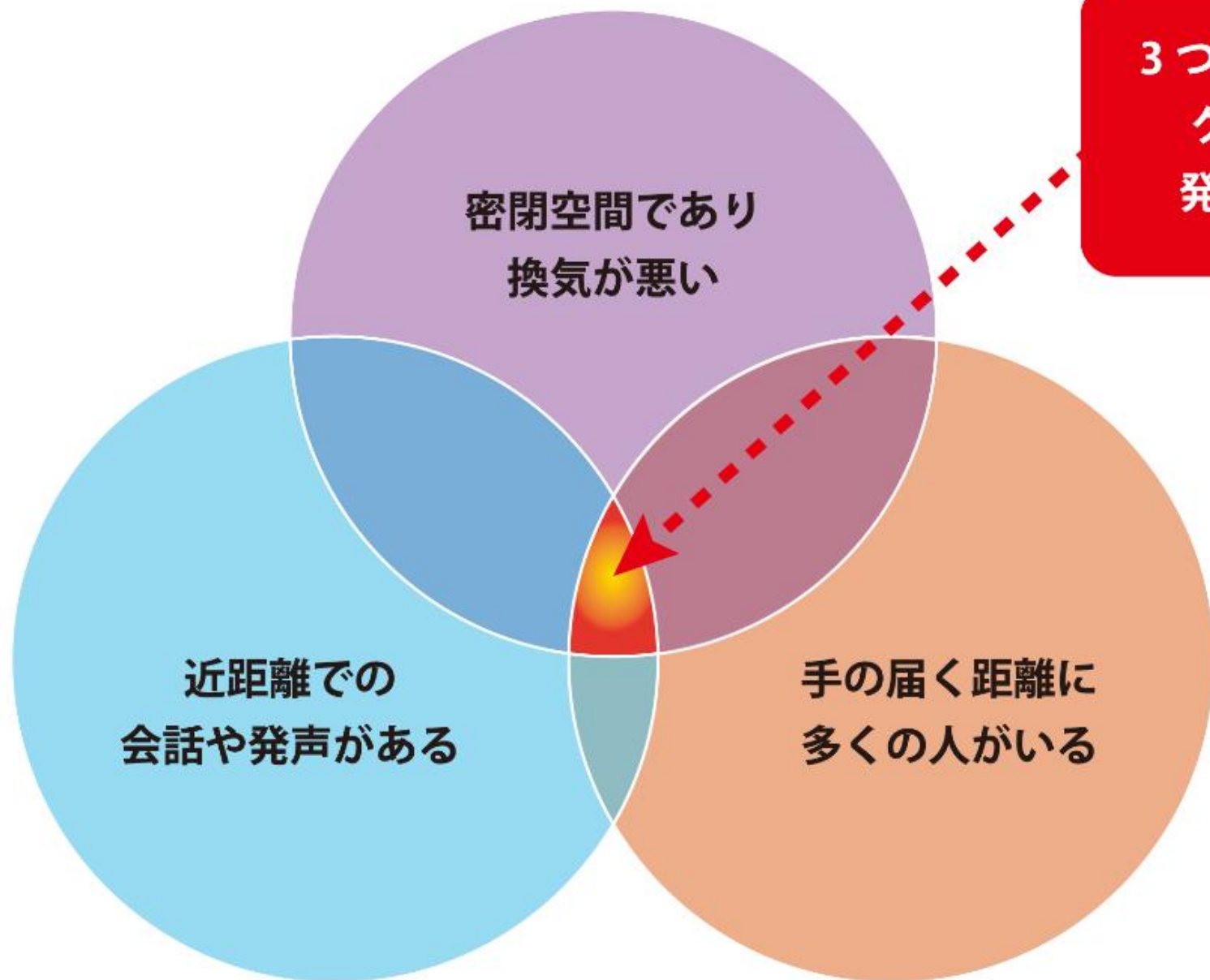
国際医療福祉大学医学部
公衆衛生学 和田耕治

感染経路

感染経路はいろいろありますが、主な3つは、







3つの条件が揃う場所が
クラスター（集団）
発生のリスクが高い

3密から「3密プラスαへ」

①換気の悪い
密閉空間



②多数が集まる
密集場所



③間近で会話や
発声をする
密接場面



+ α (呼吸が増す場所 (運動などで)、飲酒をする場所など)

私は、今いる場所でチェックします

ここ、^{さんみつ}**3密?**   

#命を守るためにできること

飲食店が独自の感染対策「黙食」を呼びかけ「あれはダメ」 「これはダメ」という“NG”が伝えられる中で必要なメッセージは

1/20(水) 10:30 配信 68

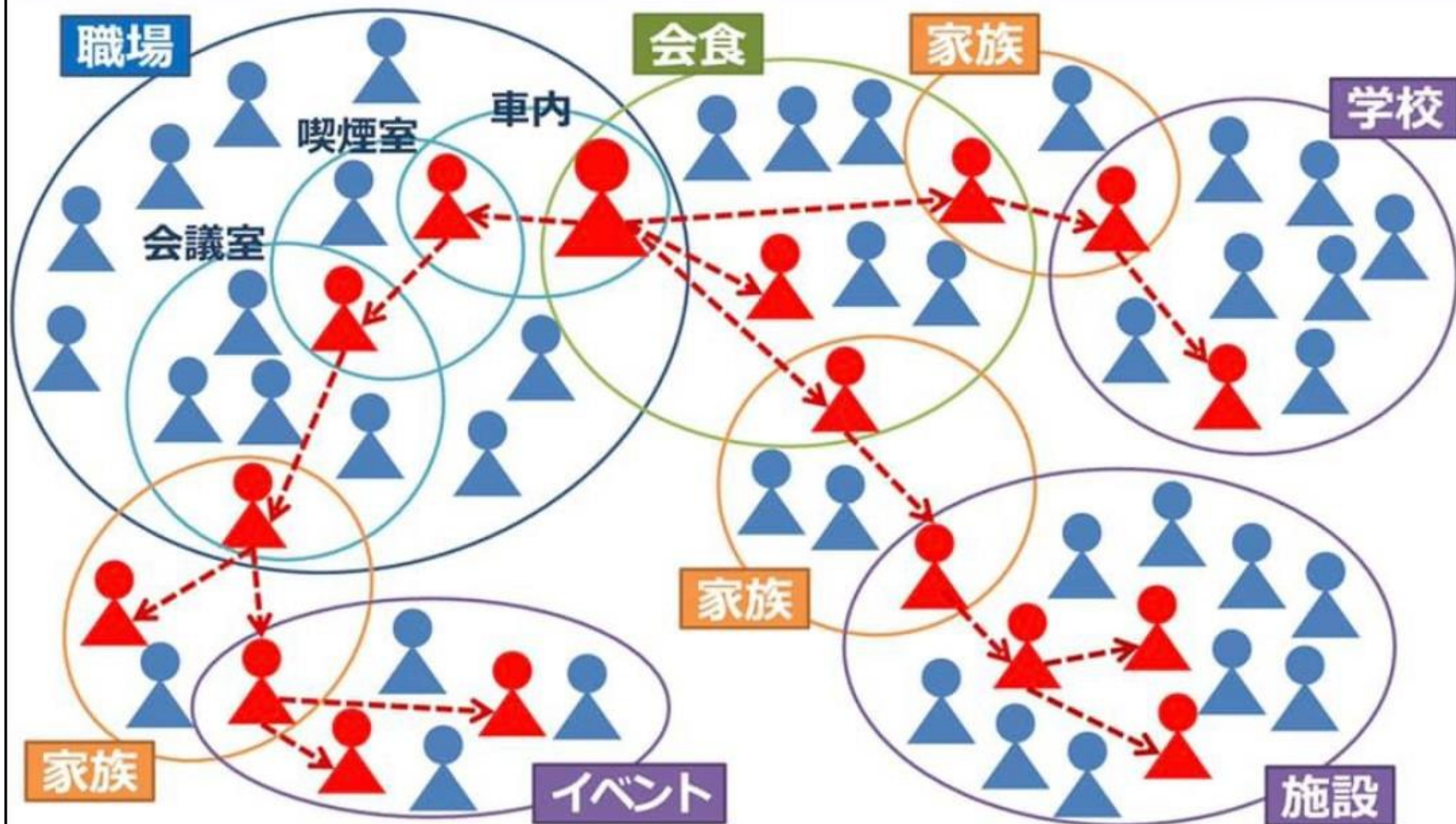


飲食店が独自の感染対策

コロナ禍で飲食業界が苦慮する中、様々な取り組みを行っている各飲食店。その中でも、感染対策を呼びかけても一部の客がマスクをせずに話すため他の客が不安になる状態を改善したいと、福岡のカレー専門店「マサラキッチン」が呼びかけた「黙食（もくしょく）」が話題になっている。

【映像】 「黙食」のPOPを掲げる店内（7：20～）

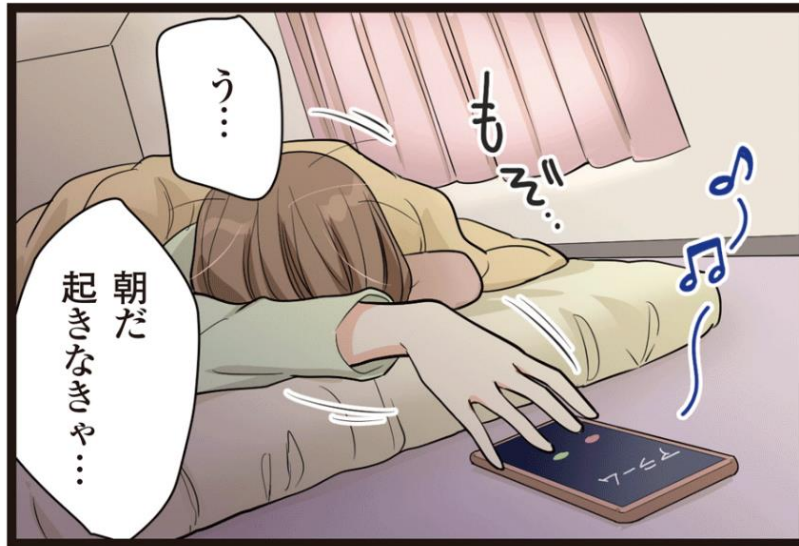
感染が広がるイメージ図



新型コロナ みんなの感染リスク⑤ 「保育園に出勤しなくちゃ」

【ポイント】
体調が悪い時は出勤を控えましょう

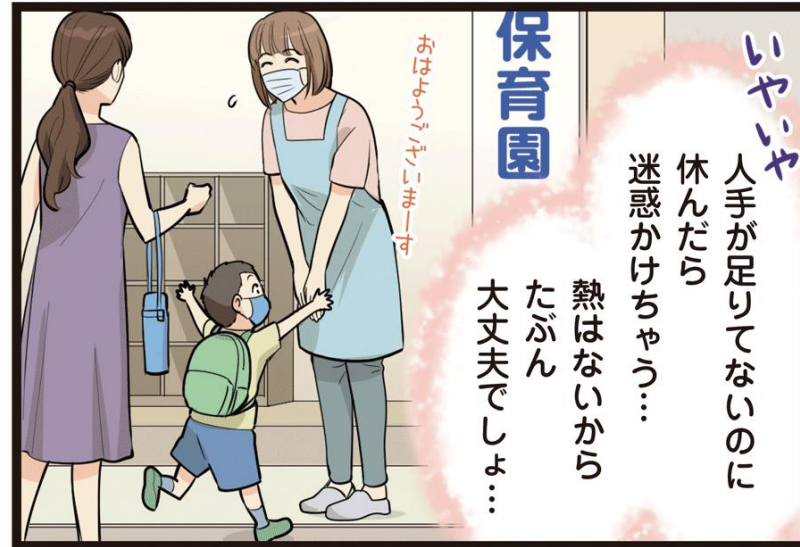
1



2



3



4



※実例をもとに制作しています

新型コロナ みんなの感染リスク⑥ 「少くらい…」

【ポイント】
感染対策があったとしても
三密の場所には近づかないように

1



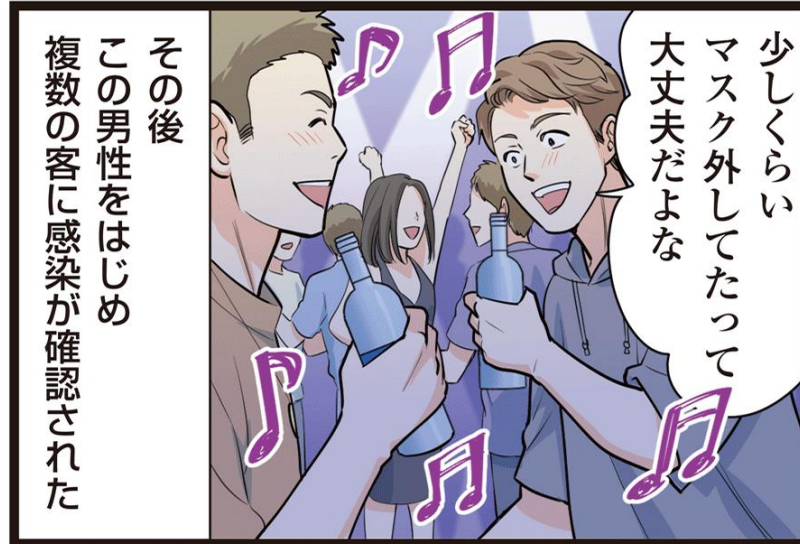
3



2



4



※実例をもとに制作しています

新型コロナ みんなの感染リスク⑦ 「個室で熱唱」



【ポイント】
歌う場所は感染リスクがとても高いので
最大限の感染対策が必要です



※実例をもとに制作しています



米国における労働者の年代 患者の症状の特徴

年代	10-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69
発熱、咳、呼吸苦 いずれか	59.8	68.1	70.1	72.4	73.2	72.3
発熱	35.0	39.6	43.2	45.3	46.2	45.2
咳	41.4	51.1	52.2	54.3	54.7	52.0
呼吸苦	16.3	26.5	28.1	30.3	30.4	30.7
筋肉痛	29.5	41.1	44.1	44.8	40.8	33.3
鼻水	8.1	8.9	7.3	6.6	5.9	5.1
咽頭痛	28.6	28.2	24.8	23.1	19.9	15.7
下痢	13.5	19.2	21.3	22.3	22.2	19.8
嗅覚・味覚障害	9.9	13.3	11.5	10.2	8.3	5.6

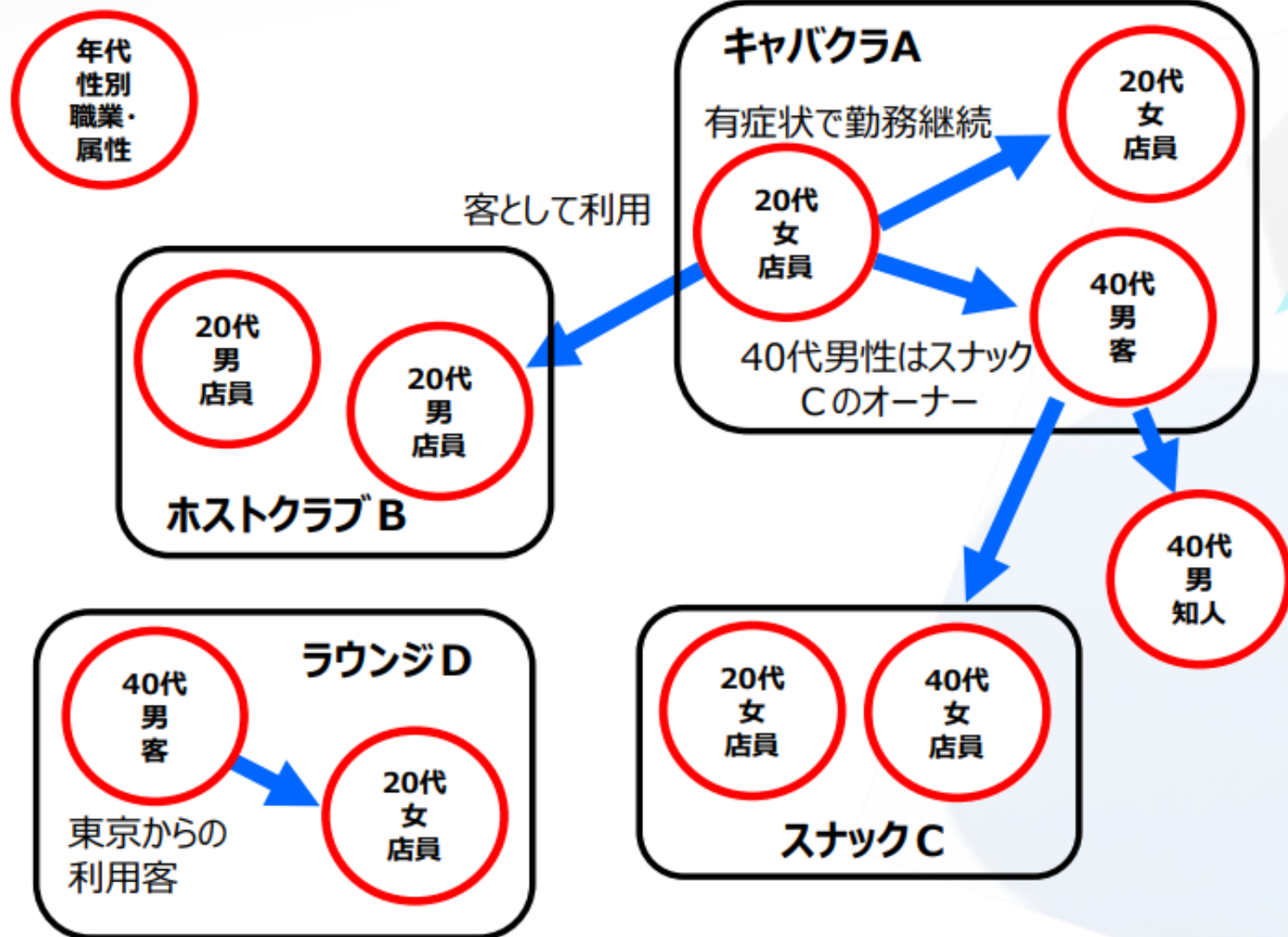
発熱がないから大丈夫というわけではない。感冒症状に敏感になる。







接待を伴う飲食店クラスター



分かったこと

- ・ 流行地域から来た利用客から店員へ感染
- ・ 接客時に3密（密閉・密集・密接）となり、店員から利用客へ感染
- ・ 有症状の店員が勤務を継続して店舗利用者と店員に感染が拡大



- ・ 症状があるときは店舗の利用を控えて下さい
- ・ 店員は3密を極力減らす工夫や検温などの健康管理を行い、感染症の早期発見・早期対応を心掛けて下さい

新型コロナウイルス感染症はこうした経路で広がっています

たたき台

飛沫

接触

密閉
密集
密接

ウイルスが手指を通じて
鼻や口から入る

#ドアノブ #タッチパネル

会話や咳により、
ウイルスを含む飛沫や粒子を
吸い込む

#接待を伴う飲食店
#宴会・飲み会 #大声 #歌
#劇場 #更衣室 #会議室

マイクロ飛沫

換気の悪い密閉空間では、5 μ m未満の粒子がしばらくの間、
空気中を漂い、少し離れた距離にまで感染が広がる可能性も

※いわゆる「空気感染」は、結核菌や麻疹ウイルスで認められており、
より小さな飛沫が、例えば空調などを通じて空気中を長時間漂い、
長い距離でも感染が起こりえるもの。

※「マイクロ飛沫感染」とは異なる概念であることに留意が必要。



3つの密を避けましょう！ ①換気の悪い密閉空間、②多数が集まる密集場所、③間近で会話や発声をする密接場面



手洗い・手指消毒、マスクの着用、2m(最低1m)の身体的距離が大事！適度な換気も重要です！

厚生労働省アドバイザーボードの見解



現在のところ、基本的な感染対策が行われていれば、近隣のスーパーでの買い物や出勤の公共交通機関、オフィスなどで感染が拡大する状況ではないと考えられる。



最近では、家庭内や医療機関、高齢者施設などにおける感染も確認されている。

社内で感染者の報告があったら

1. 「報告してくれてありがとうございます。しっかり休んでください。
なおったら職場に戻れるようにこちらでも支援します。」と回答
2. 「もしこのままお話できるなら、秘密は守るので、症状がいつでたか、そしてだれと会議や会食したか教えていただけますか？」
3. 症状の有無は、丁寧に、喉の違和感、軽い咳なども含めていつから か確認
4. そうした症状があった場合、または症状の始まる2日前に会食や会議があったかを確認。
5. そのうえで、同席者に感染したことを伝えていいか確認を
→かなり機微なことが多く、コロナだからといって医療職以外がここまで対応ができるのかは課題。

感染者の報告があった場合に留意したい点

1. 最初の報告があった人が必ずしも職場で最初の感染者とは限らない。周囲に体調不良者がいないかの確認は必要。
2. 「濃厚接触者」を会社として「認定する」ことは様々な影響がある。
3. 事前に1度はシミュレーションしておきたい。

怪しい感染対策グッズを買わなくてすむ 2つの問い

1. 「それは病院でも使われていますか？」

病院では使われていないグッズが多数です。光触媒とか、抗ウイルスシートとか、なんとか水とか。

2. 「でも病院で使っていても、うちみたいな 感染リスクのところではそれ必要なんですか？」

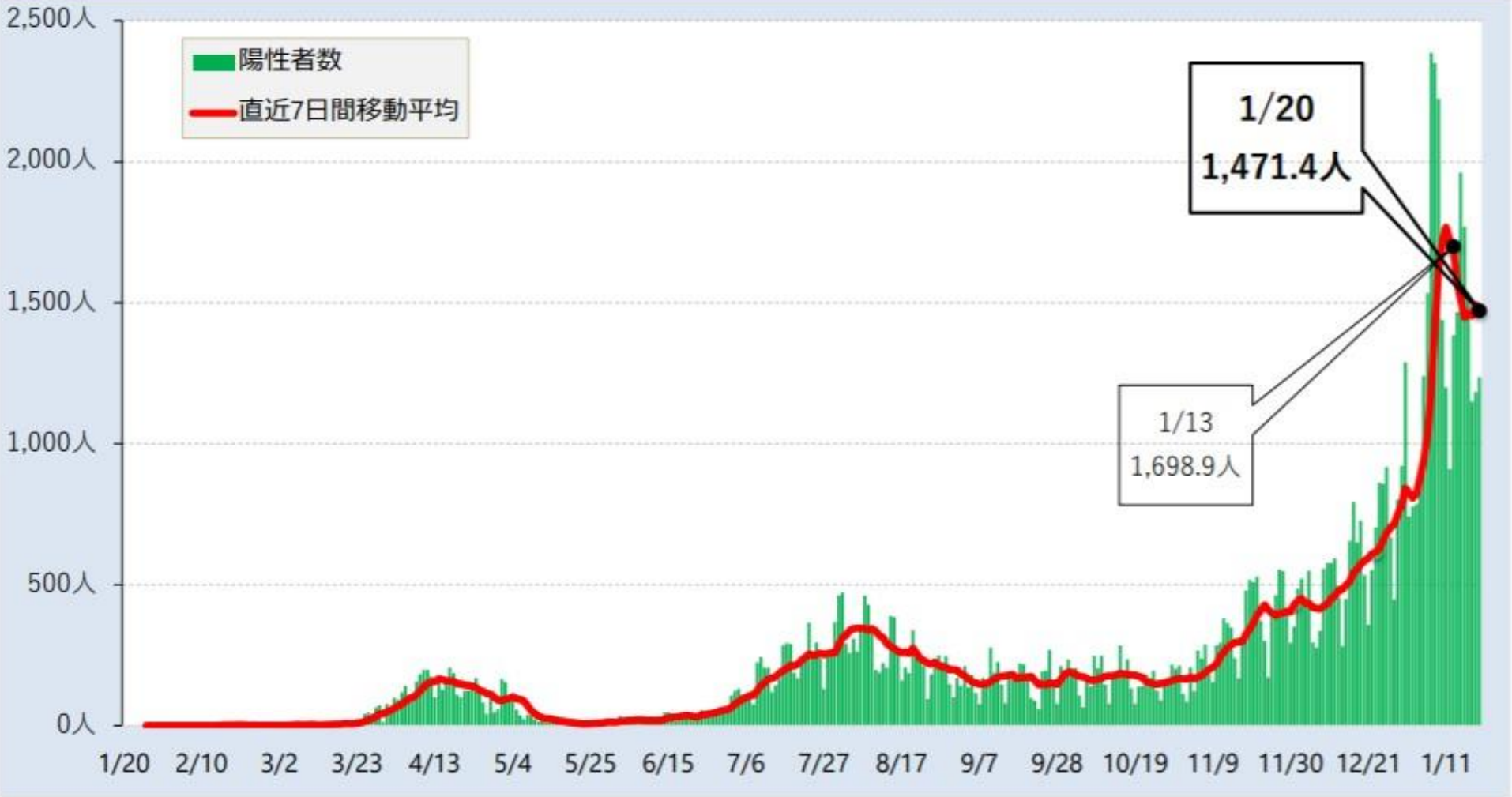
使用することで、今よりなにがどう改善するのか確認する。

「お客様の安心のため」という極めて曖昧な目的ではないこと

*一部に、真面目な方や企業が、本当に心配して、しかし、知識不足で薦めてくることもあるのでご注意を。新しい技術として新聞に載ったようなものは少し様子を見ましょう。

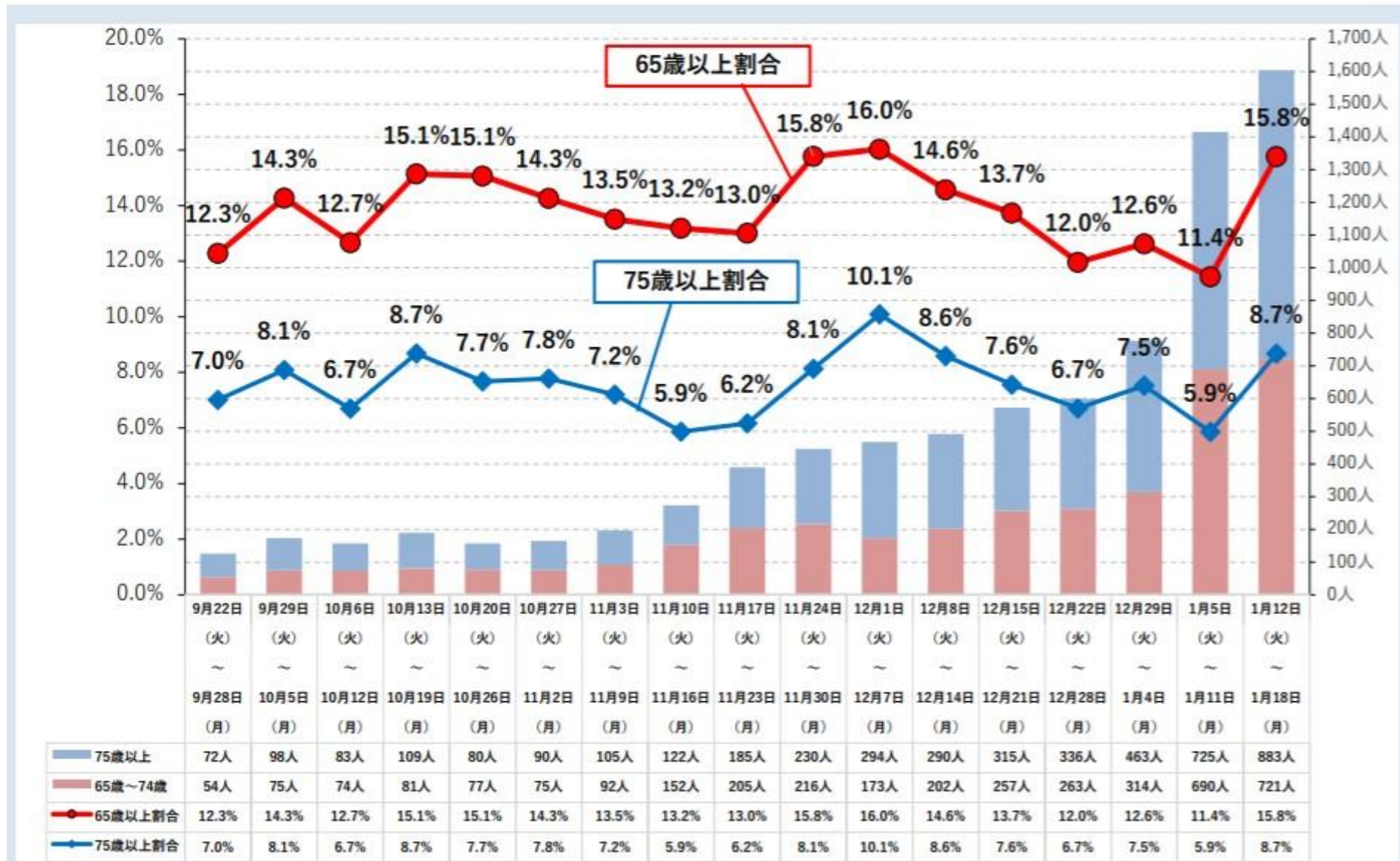
【感染状況】 ①-1 新規陽性者数

➤ 新規陽性者数の7日間平均は約1,471人と減少しているものの、極めて高い水準にある。

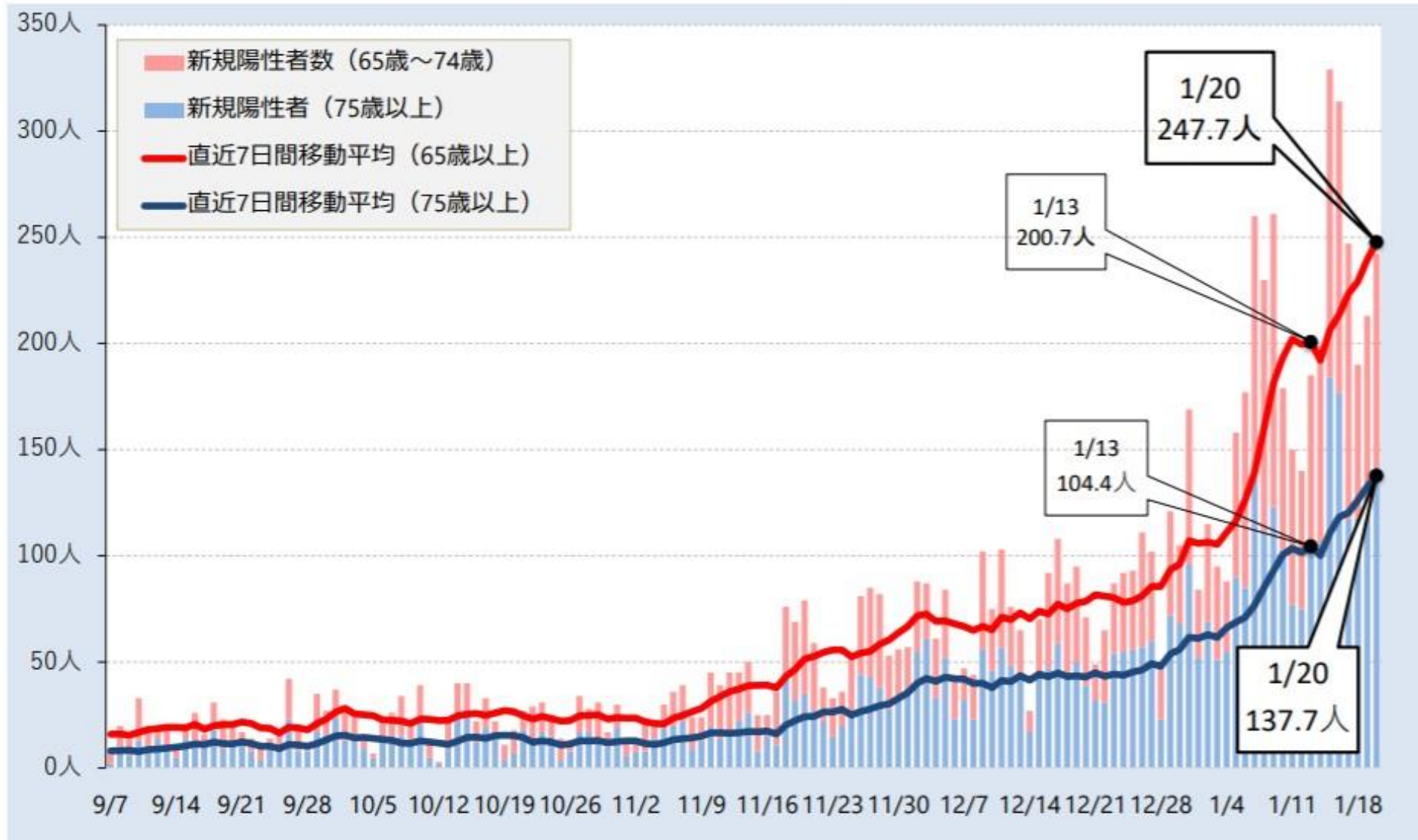


(注) 集団感染発生や曜日による件数のばらつきにより、日々の結果が変動するため、こうしたばらつきを平準化し全体の傾向を見る趣旨から、過去7日間の移動平均値を陽性者数として算出

【感染状況】 ①-3 新規陽性者数（65歳以上の割合）

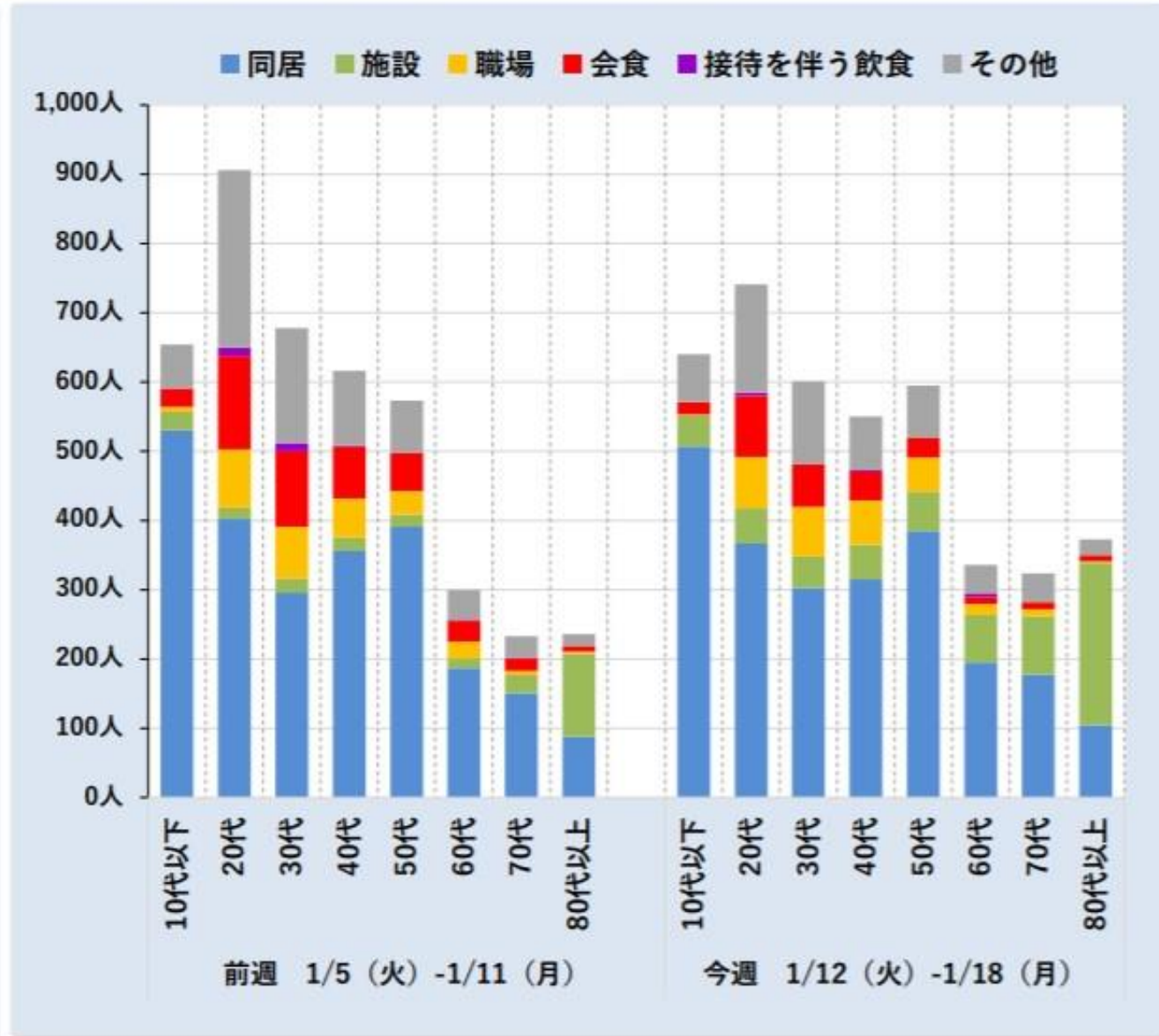
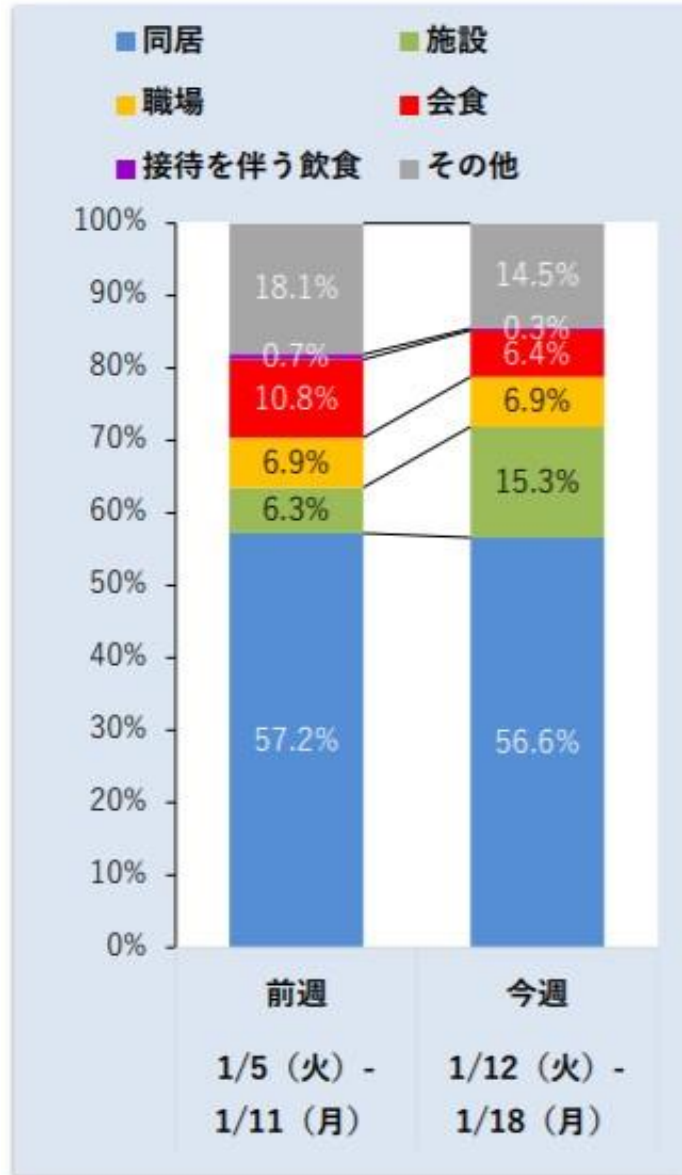


【感染状況】 ①-4 新規陽性者数（65歳以上の7日間移動平均）



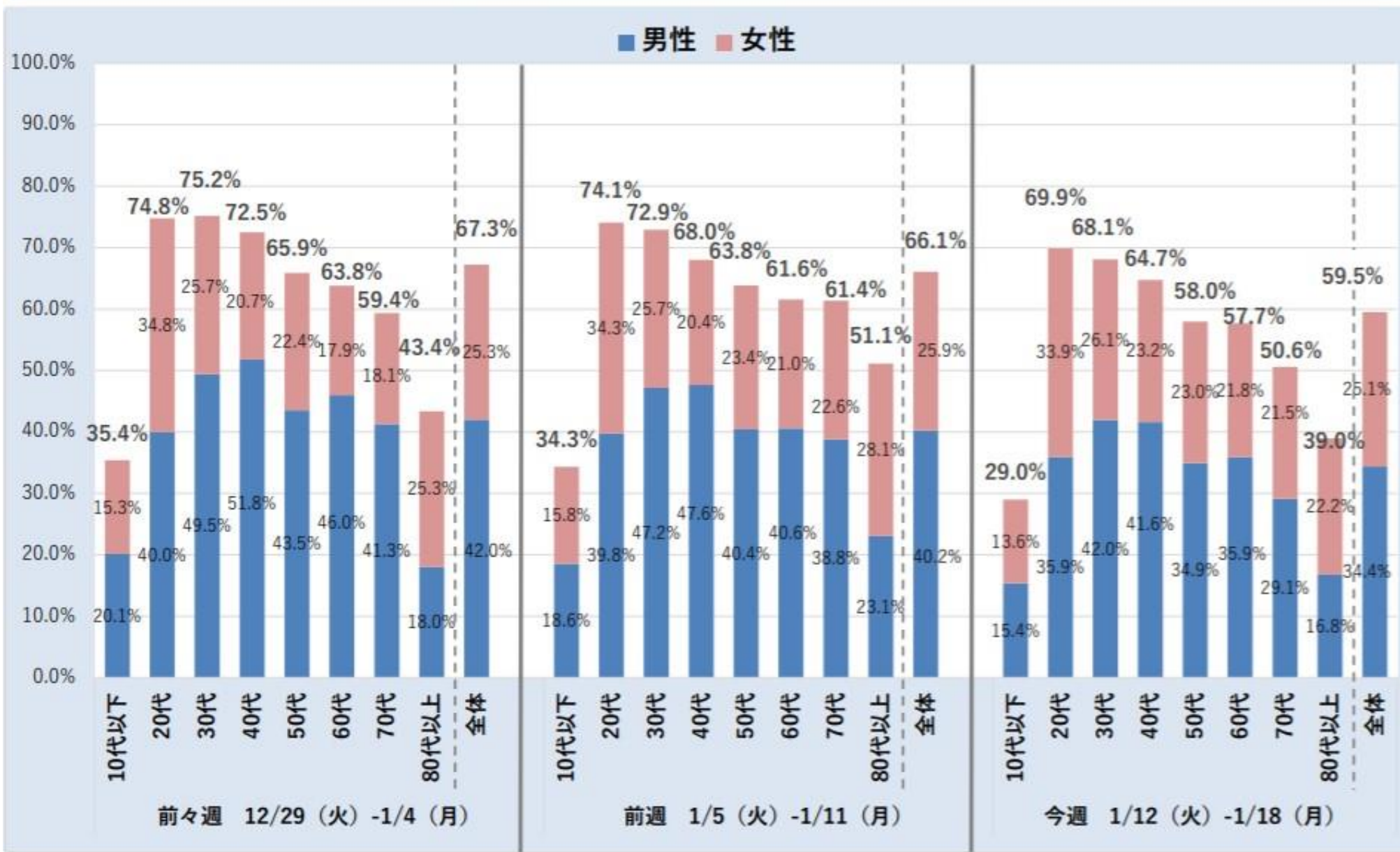
(注) 集団感染発生や曜日による件数のばらつきにより、日々の結果が変動するため、こうしたばらつきを平準化し全体の傾向を見る趣旨から、過去7日間の移動平均値を陽性者数として算出

【感染状況】 ①-5 新規陽性者数（濃厚接触者における感染経路）



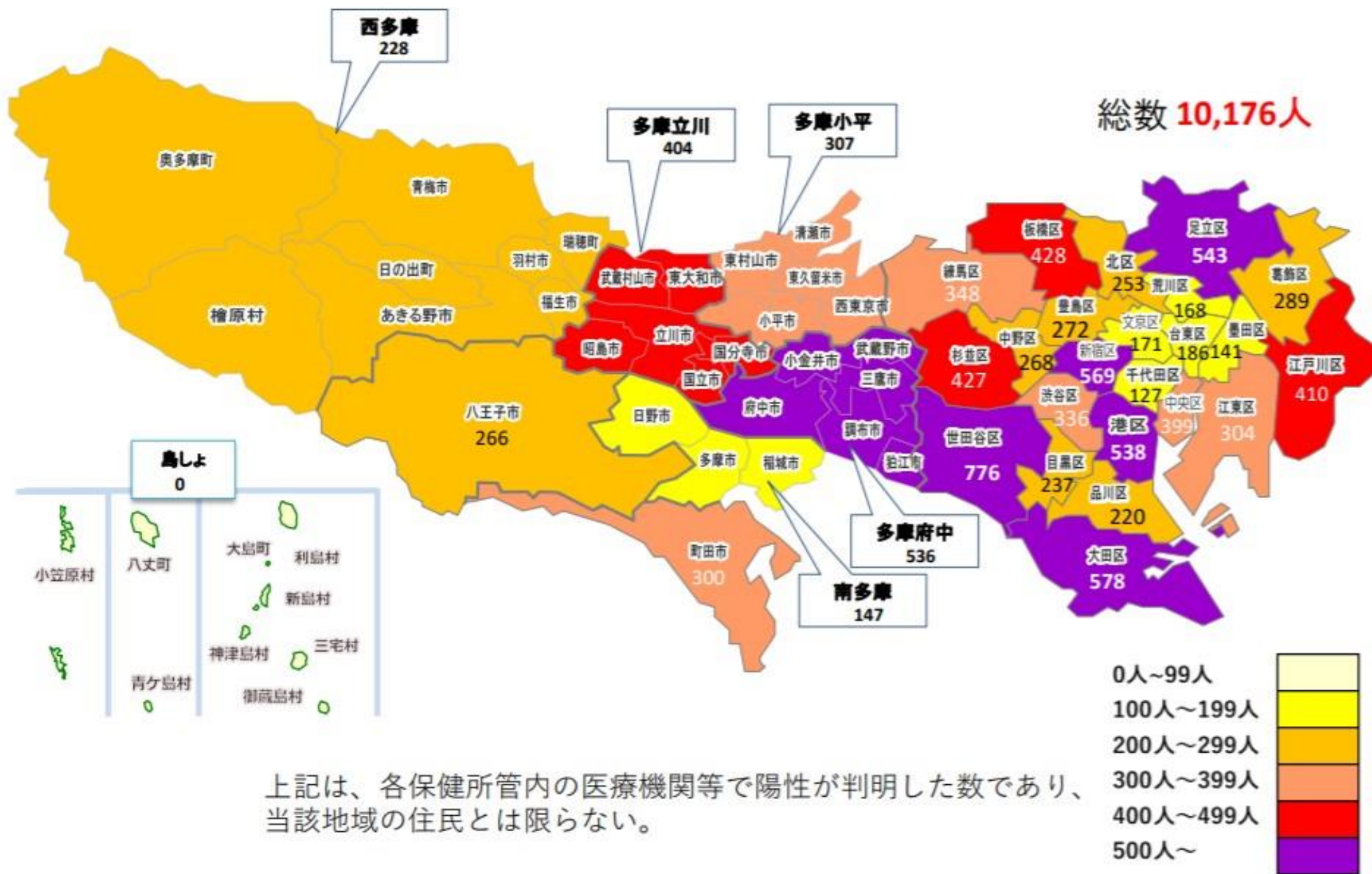
(注) 「施設」とは、特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、医療機関、保育園、学校等の教育施設等

【感染状況】 ③-3 年代別接触歴等不明者の割合

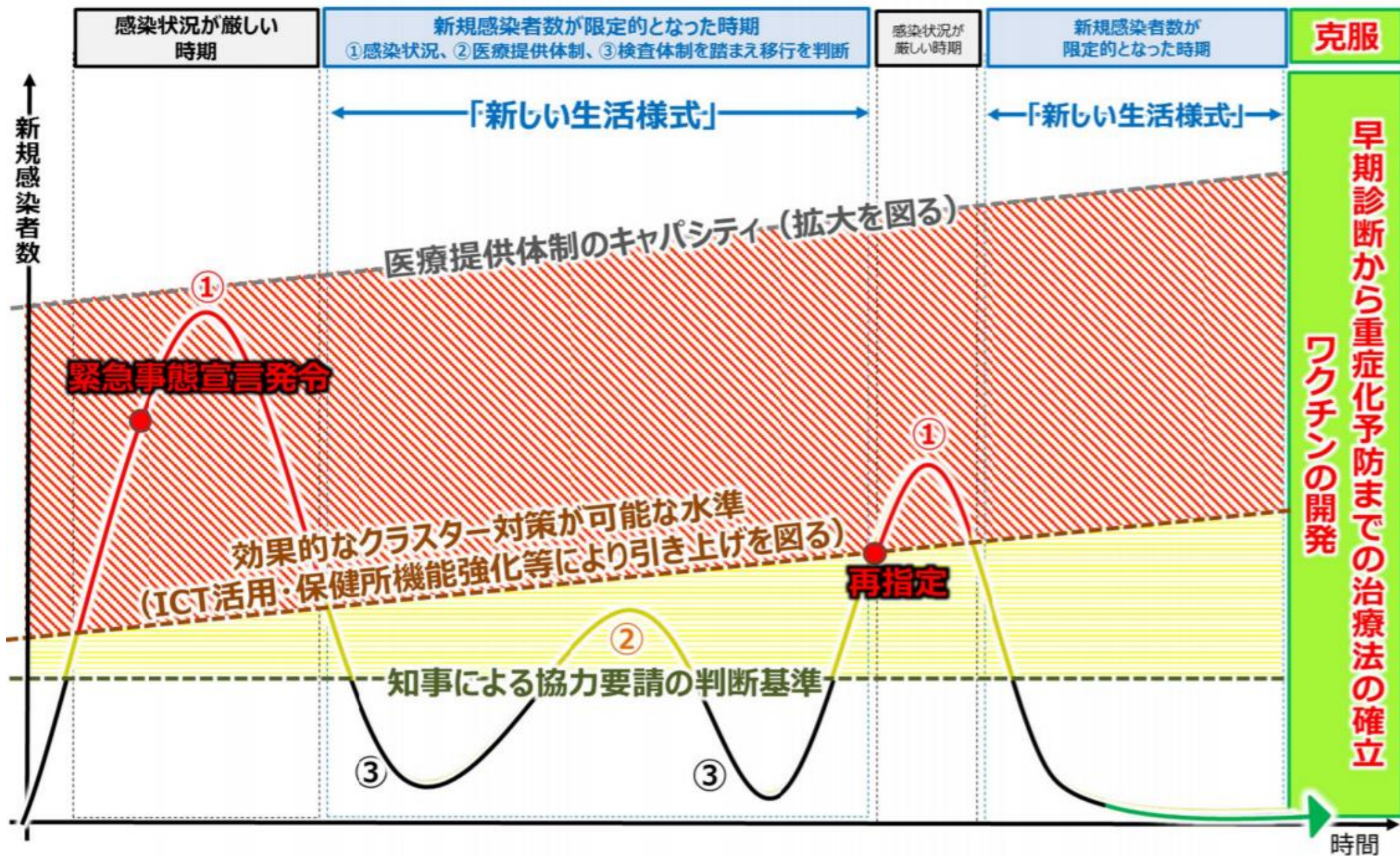


(注) 割合については、各年代の接触歴判明者を含めた陽性者数を100%として算出。

【感染状況】 ①-8 新規陽性者数（届出保健所別、1/12~1/18）



地域別の新型コロナウイルス感染症対策（イメージ）



1都3県「緊急事態行動」8日から要請へ最終調整 外出自粛や時短

2021年1月4日 16時03分

新型コロナウイルス

新型コロナウイルスの急速な感染拡大を食い止めるため、東京と埼玉、千葉、神奈川の1都3県は、今週金曜日の今月8日から、今月末まで、「緊急事態行動」として、住民に対して午後8時以降の不要不急の外出自粛や、酒を提供する飲食店に対して午後8時までの営業時間の短縮を要請していく方向で最終調整していることが分かりました。

関係者によりますと、東京と埼玉、千葉、神奈川の1都3県は、政府が緊急事態宣言の発出を検討するなか、その発出を待たずに先んじて首都圏全体で人の流れを徹底的に抑える必要があるとして「緊急事態行動」として強化した対策を行う方向で最終調整していることが分かりました。

各都道府県で今後想定される感染状況

- 目標** :医療・公衆衛生・経済が両立しうる範囲で、
- ①十分に制御可能なレベルに感染を抑制し、死亡者・重症者数を最少化。
 - ②迅速に対応し、感染レベルをなるべく早期に減少へと転じさせる。
- ※感染状況及び対策の検討にあたっては、大都市部と地方部の違いに配慮が必要。

ステージⅠ

感染者の散発的発生及び医療提供体制に特段の支障がない段階

ステージⅡ

感染者の漸増及び医療提供体制への負荷が蓄積する段階

3密環境などリスクの高い場所でクラスターが度々発生することで、感染者が漸増し、重症者が徐々に増加してくる。このため、保健所などの公衆衛生体制の負荷も増大するとともに、新型コロナウイルス感染症に対する医療以外の一般医療も並行して実施する中で、医療提供体制への負荷が蓄積しつつある。

P 6 の取組及び P 7 の取組のうち、黒字の取組を実施

ステージⅢの指標

ステージⅢ

感染者の急増及び医療提供体制における大きな支障の発生を避けるための対応が必要な段階

ステージⅡと比べてクラスターが広範に多発する等、感染者が急増し、新型コロナウイルス感染症に対する医療提供体制への負荷がさらに高まり、一般医療にも大きな支障が発生することを避けるための対応が必要な状況。

ステージⅢで講ずべき施策(P 7)を実施

ステージⅣの指標

ステージⅣ

爆発的な感染拡大及び深刻な医療提供体制の機能不全を避けるための対応が必要な段階

病院間クラスター連鎖などの大規模かつ深刻なクラスター連鎖が発生し、爆発的な感染拡大により、高齢者や高リスク者が大量に感染し、多くの重症者及び死亡者が発生し始め、公衆衛生体制及び医療提供体制が機能不全に陥いることを避けるための対応が必要な状況。

ステージⅣで講ずべき施策(P 8)を実施

ステージⅢで講ずべき施策の提案

(赤字:ステージⅢで取り組むことを検討して頂きたい事項/黒字:ステージⅠ、Ⅱでも取り組んで頂きたいが、ステージⅢで更に徹底して頂きたい事項)
以下の施策については、同一県内であってもエリア限定で実施するなど、地域の実情に応じて取り組んでいただきたい。また、感染の状況によっては、ステージⅢに至る前から、機動的に取り組んでいただくことも重要である。

メリハリの利いた接触機会の低減

【対事業者】

(ステージⅢで取り組むべき事項)

- **ガイドラインを遵守していない酒類の提供を行う飲食店の休業要請等。**
- **イベント開催の見直し。**
- **人が集中する観光地の施設等における入場制限等。**
- **接触確認アプリの導入をイベントや企画旅行等の実施に当たって要件化。**
- **飲食店における人数制限。**

(ステージⅢにおいて更に徹底すべき事項)

- COCOA及び地域ごとの対策アプリの更なる周知及び普及促進の更なる強化。
- リスクの高い場所への積極的な介入・指導の継続強化(検査の強い要請など、クラスターが発生した店舗等への対策強化)。
- テレワーク等の更なる推進。

【対個人】

(ステージⅢで取り組むべき事項)

- **夜間や酒類を提供する飲食店への外出自粛の要請。**
- **飲食店における人数制限。**
- **若年者の団体旅行など感染予防を徹底できない場合等における、感染が拡大している地域との県境を越えた移動自粛の徹底。**

(ステージⅢにおいて更に徹底すべき事項)

- ターゲット毎に適切なメディアを通した分かりやすいメッセージの発信。
 - ・ 重症化しやすい人(高齢者など): 3密の徹底的な回避、安全な活動については推奨。
 - ・ 中年: 職場での感染予防徹底、宴会等の自粛。
 - ・ 若者: クラブ活動等における感染予防徹底、宴会等の自粛。
 - ・ 医療従事者・介護労働者: リスクの高い場所に行かない。

【対国・地方自治体】

(保健所の業務支援)

- クラスタ対策の重点化・効率化。
- 保健所への人材の派遣・広域調整。
- 保健所負担の更なる軽減。

(医療提供体制及び公衆衛生体制の整備)

- 病床、宿泊療養施設の追加確保(公共施設の活用など一段進んだ取組)。
- 重症病床をはじめ医療提供体制に関する各種データの積極的公開。
- 無症候者、症状別の感染者数の公表。
- 臨時の医療施設の準備。
- 都道府県域を超えた患者受入れ調整(広域搬送)。
- 検査時にウイルス量が多い場合や高齢者等の重症化するリスクが高い方を優先的に入院。**(自宅療養の対象となる者の明確化を通じ、宿泊療養により難しい場合における、軽症・無症状者で重症化リスクの低い方への自宅療養の適切な実施)**
- 感染が広がっている特定の地域については、医療機関や高齢者施設等において速やかに必要な検査を実施。
- 感染が拡大している特定の地域に属する者や関連する集団を対象とした検査を実施

(水際対策)

- 水際対策の適切な実施を継続。

(その他の重要事項)

- リスクコミュニケーションの観点から、国民に説得力のある状況分析とともに、現場における対話の積み重ねや分かりやすく明確なメッセージの発信。

ステージⅣで講ずべき施策の提案

全面的な接触機会の低減

緊急事態宣言など、強制性のある対応を検討せざるを得ない。

- 接触機会の低減を目指した外出自粛の要請。
- 県境を超えた移動の自粛要請。
- 感染リスクやガイドラインの遵守状況等を考慮しつつ、生活必需品等を取り扱う事業者等を除き施設の使用制限。
- 人が集中する観光地の施設や公共施設の人数制限や閉鎖等。
- イベントは原則、開催自粛。集会における人数制限。
- 生活圏での感染があれば学校の休校等も検討。
- テレワーク等の強力な推進をはじめ職場への出勤をできるだけ回避。

公衆衛生体制

- クラスタ対策は重症化リスク対策を考慮して更に重点化。
- 重症化リスクの高い発症者を優先的に対応。
- 疫学調査の簡略化。

医療提供体制

- 入院治療が必要な方への医療提供を徹底的に優先した医療提供体制。
(高齢者等のハイリスクではあるものの、軽症・無症状者への宿泊療養の開始も検討)
- 臨時の医療施設の運用・追加開設。

その他の重要事項

- 行動変容に対する国民・住民の理解を得るための積極的なリスクコミュニケーションの実施。

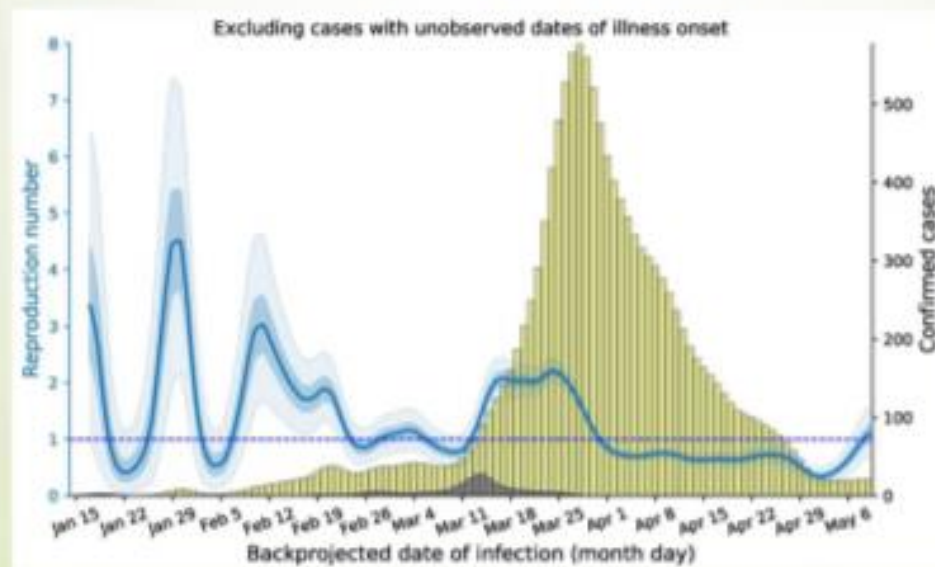
感染者数のシミュレーション(東京都)

実効再生産数を使った数理モデル
京都大学 西浦博 教授

緊急事態宣言（4月7日）の効果

- 報告日ベースでは、新規感染者数のピークは4月10日頃。
- 推定感染時刻ベースでは、感染時期のピークは4月1日頃。
- 緊急事態宣言前（3月末）から、市民の行動変容等により、新規感染者は減少傾向。
- 緊急事態宣言後は、実効再生産数が再反転せず、宣言期間中を通じて1を下回り、低位で維持。

【全国の実効再生産数推定値（5月28日版）】



感染を防止するための協力要請等について（法第45条）

新型インフルエンザ等緊急事態において、感染拡大をできるだけ抑制し、社会混乱を回避するため、以下のような措置が講じられます

不要不急の外出の自粛等の要請

- 都道府県知事は、期間と区域を定めて（※）、生活の維持に必要な場合を除きみだりに外出しないことを含め、感染防止に必要な協力を要請します。

（※）潜伏期間、治癒までの期間及び発生状況を考慮して定めることとなるが、具体的な運用については、政府対策本部の基本的対処方針で統一的な方針を示す予定。期間については、発生初期などに1～2週間程度を目安に実施することを想定。区域については、患者の発生状況や地域の社会経済的なつながり等を勘案して都道府県知事が判断（都道府県内のブロック単位等）。

遊技場や遊興施設等の使用等制限等の要請等

- 都道府県知事は、期間を定めて遊技場、遊興施設等多数の者が利用する施設（注1）の管理者又はそれらの施設を使用して催物を開催する者に対し、施設の使用の制限等の措置（注2）を講ずるよう要請します

（※）具体的な運用については、政府対策本部の基本的対処方針で統一的な方針が示される予定です。

注1 「施設」の具体的内容は、政令で規定。

注2 「措置」の具体的内容は、政令で規定。施設の使用制限・停止のみならず、マスク着用、咳エチケット等の基本的な感染予防策の実施の協力を含む。

- 正当な理由がないのに要請に応じないときは、都道府県知事は、新型インフルエンザ等のまん延防止等のために特に必要があると認める場合に限り、施設の使用の制限等を指示することができます。（罰則なし）
- 要請・指示を行ったときは、その旨が公表されます。

(3)施設の使用

- 専門家による分析の結果、飲食はマスクを外したりして感染リスクが高く、感染拡大の主な起点であるとされています。感染経路が不明のものでも、その多くは飲食経由であるとの専門家の見解もあります。
- 飲食店やカラオケボックスなどへ、営業時間の短縮（営業は20時まで、酒類の提供は11時から19時まで）を要請いたします。
- 政府は、1都3県が時短要請を行う場合に支払う「協力金」について支援します（月30日換算120万円→180万円へ引き上げ）。
- また、遊戯場や大規模な店舗などに対しても、飲食店と同様の働きかけ（営業は20時まで、酒類の提供は11時から19時まで）を行います。また、遊戯場や劇場、映画館などに対しても、人数の上限や、収容率の要件を守るように働きかけを行います。

(4)テレワーク

- 職場への出勤自体は、自粛要請の対象ではありませんが、対策の実効性を高めるための環境づくりとして、人と人の接触機会を減らすことは大変重要です。
- そのため、「出勤者数の7割削減」を目指し、テレワークやローテーション勤務、時差通勤などを、政府や1都3県として、事業者の皆さんにお願いします。
- また、20時以降の外出自粛のため、事業継続に必要な場合を除き、20時以降の勤務抑制をお願いします。

【学校等については以下のとおりとなります。】

(5)学校等

- 一律の臨時休業（いわゆる一斉休校）は要請しません。保育所や放課後児童クラブなどについても、開所を要請いたしません。
- 特に受験シーズンに入っており、政府と1都3県は、各学校と協力し、感染防止対策、面接授業・遠隔授業の効果的実施など、学修機会の確保に努めます。
- 入試などは、予定通り実施されます。
- ただし、大学などでの部活動や、学生寮での感染防止対策、懇親会や飲み会の開催などについて、学生への注意喚起の徹底をお願いします。
- 特に、1都3県では、部活動における感染リスクの高い活動の制限を要請いたします。

海外で開発されたワクチンの確保に関する取組

海外で開発された新型コロナワクチンの導入に向けてメーカーと協議を行うとともに、生産体制の整備や国内治験への支援を行うことにより、安全で有効なワクチンをできるだけ早期に国民へ供給することを目指している。

正式契約を締結したもの

モデルナ社（米国）との契約（10月29日）

- 新型コロナウイルスのワクチン開発に成功した場合、武田薬品工業株式会社による国内での流通のもと、来年上半期に4000万回分、来年第3四半期に1000万回分の供給を受けることについて両者と契約を締結。

アストラゼネカ社（英国）との契約（12月10日）

- 新型コロナウイルスのワクチン開発に成功した場合、来年初頭から1億2000万回分のワクチンの供給（そのうち約3000万回分については来年の第一四半期中に供給）を受ける。

※アストラゼネカ社は以下について公表。

- ・ JCRファーマ株式会社でのワクチン原液の国内製造と、海外からのワクチン調達を予定。
- ・ 製造されたワクチン原液は、第一三共株式会社、第一三共バイオテック株式会社、Meiji Seikaファルマ株式会社、KMバイオロジクス株式会社において製剤化等を行う。
- ・ 海外での臨床試験に加え、日本国内でも第I/II相試験を8月下旬より開始。

※国内でのワクチン原液製造・製剤化等の体制整備は、「ワクチン生産体制等緊急整備事業」（2次補正）の補助対象

協議・合意が公表されているもの

ファイザー社（米国）との基本合意（7月31日）

- 新型コロナウイルスのワクチン開発に成功した場合、来年6月末までに6000万人分（1億2000万回分）のワクチンの供給を受ける。
- 今後、最終契約に向けて協議を進める。

このほか、国内生産が計画されているもの

ノババックス社（米国）：武田薬品工業株式会社が提携して日本国内でワクチン生産を予定

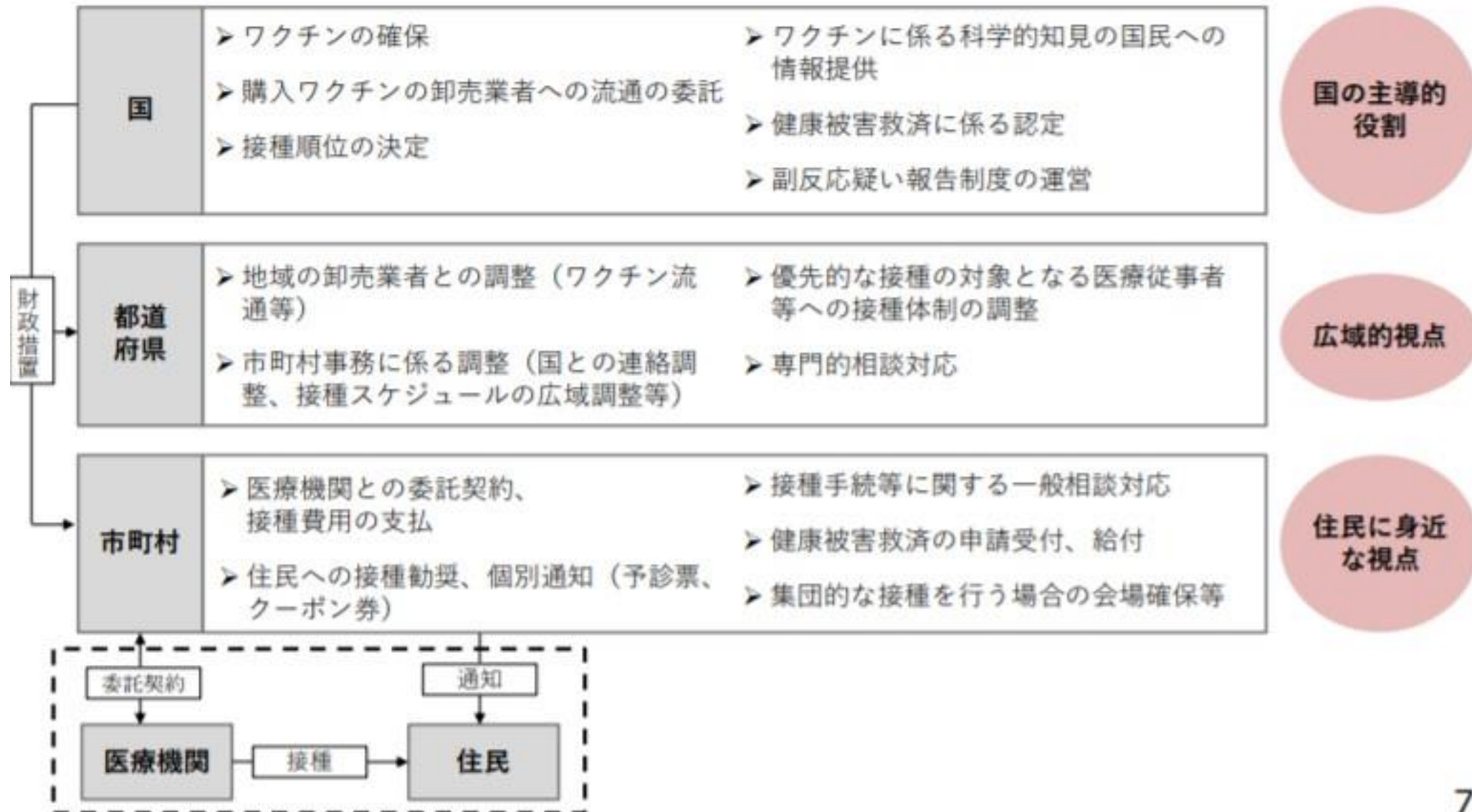
※両社は以下について公表している。（8月7日）

- ・ ノババックス社のワクチンを、日本国内で年間2.5億回分生産する体制整備を図る。

※国内でのワクチン製造のための技術移管と体制整備は、「ワクチン生産体制等緊急整備事業」（2次補正）の補助対象

○国の主導のもと、必要な財政措置を行い、住民に身近な市町村が接種事務を実施し、都道府県は広域的観点から必要な調整を担うこととしたい。

（注）下図は予防接種法における接種の事務をベースとして、国の主導的役割を踏まえ作成。



おわりに

- とりあえず、今は感染をいったんおさえたい
- 病気や怪我をしないように
- 飲食店の対策をどう支援していくか
- 差別偏見、分断、怒り、不満などにどう我々は立ち向かうのか
- 我々の連帯、そして助け合いを尊ぶ度合いが高まるように
- そして、ピンチをチャンスに・・